

全国病児保育協議会のホームページ <http://www.byoujichoiku.ne.jp>

全国病児保育
協議会
広報委員会

病児保育協議会ニュース



＝今号の目次＝

1 頁 協議会メール 福岡大会ご挨拶

2 頁 加盟施設紹介

かみや母と子のクリニック病児保育室くじら
キッズ

横井小児科内科医院病児保育室「こりすの里」

綾川町病児保育室うぐいす

子育てひろばたつのご病後児保育たんぽぽ

3 頁 加盟施設紹介

塚田こども医院わたぼうし病児保育室

山口クリニックキッズケアルーム風船

(医) 石川小児科ジョイルーム

豊中市立本町保育所「病後児保育室」

4 頁 ブロック便り 鹿児島県支部から

ブロック便り 三重ブロックから

5 頁 ブロック便り 近畿北ブロックから
できました新しい施設紹介ポスター

6 頁 第17回研究大会福岡大会紹介

福岡名所めぐりMAP

広報委員会からのお知らせ

7 頁 協議会 TOPICS・PICK UP BOOK2

8 頁 病児保育協議会発行の書籍紹介

平成20年開催第18回研究大会のお知らせ
新規加盟施設紹介

協議会メール

第17回全国病児保育研究大会福岡大会ご挨拶

第17回全国病児保育研究大会福岡大会 会頭 高崎 好生

病児保育の始まりは、子どもを保育所に預けて働いている父母たちの強い要望により、その必要性を痛感した医師や保育士・看護師たちの地道な活動が、徐々に地方自治体を動かし、次第に全国に展開されていきました。

そして、その実績がみとめられ平成7年に国の施策により、乳幼児健康支援デイサービス事業(後に乳幼児健康支援一時預かり事業と名称が変更)として予算化が計られました。その結果、現在では公的な補助を受けている対象施設は、平成17年度実績として598施設となっています。これまでの先達が辿って来られた道のは決して楽ではなかったであろうと拝察し、この場を借りてその尽力に敬意を表す次第です。

全国病児保育協議会は、平成3年9月1日に大阪において13施設で設立されました。平成4年11月28日に第2回全国病児保育協議会総会と第一回研修会が開催され、以来、平成15年度第13回大会までは協議会執行部が実行委員会となって開催されてきました。平成16年度より総会お

よび研修会は地方による輪番制で開催されるようになり、第14回大会を横浜市で、平成17年度第15回大会を岡山市で、今年平成18年度第16回大会を大阪市で、そして来る平成19年7月15日・16日に第17回大会を当地福岡市で開催することになりました。

全国病児保育協議会の活動は、これまで「病児保育(学)の体系作り」、「組織と内容の充実」、「一般社会への啓蒙」、「行政への対応」等が主なものではなかったかと思えます。いわばこれまでは“病児保育”の創成期で、これからはこのすばらしい組織を元にしてさらに発展していく時期、いわゆる成長期と言えらると思います。ほかの表現をすれば、これまでは“集中の時期”で、これからは“分化の時期”といえるかも知れません。

厚生労働省はこれまでの健康支援一時預かり事業を手直しして、病児・病後児保育事業の拡充として、自園で体調不良になった児童を預かることが出来るような仕組みを設け、保育所において一定の対応が可能にすることを策定しています。

これらの施策改定により、病児・病後児保育施設はますます増加が予測され、そこに従事する人たちが研修する場としての当協議会の組織力や役割がますます必要になってくると考えられます。

そこで、今回の研修大会のテーマは「拓こう病児保育の未来を保育資質の向上をめざして」といたしました。今後、さらに求められている質の高い病児保育の実施に向けて、施設長や従事者をはじめ病児・病後児保育事業に携わっている全ての人たちに対する、充実した大会にしたいと考えています。

病児保育事業も従来の“働く父母のための育児と仕事の両立支援”から“少子化社会対策としての育児中の家庭支援”へと対象が広げられ、一般社会からのニーズはますます増えてきています。

研究大会はちょうど博多祇園の山笠のフィナーレを飾る“追い山”の日です。その暑い熱気の余韻の中で、病児保育の未来について、皆様とともに考え、学びましょう。

皆様方の多数のご来場をお待ち申し上げております。

★ ★ 加 盟 施 設 紹 介 ★ ★

かみや母と子のクリニック

病児保育室くじらキッズ

くじらキッズは、沖縄県の南部・糸満市に平成15年9月にかみや母と子のクリニック内に医療機関併設型として開園しました。

産婦人科・小児科のクリニックで母乳育児を推進しているので搾母乳を持参するおかあさんにも対応しています。

子ども達の年齢や体調に合わせてゆったりとしたリズムで過ごせるように心がけていて手作りのおもちゃや折り紙で楽しく遊んでいます。帰宅する時に持ち帰って貰っています。帰り際に「明日もくじら保育園に来るからね」といって帰る子どもも多く保育士として

は、嬉しいような少し複雑な気持ちになります。

保護者の皆様に安心してご利用いただける病児保育室としてスタッフ一同、頑張っ行ってきたいと思ひます。

保育士 外間 幸枝

保育士 松山 智

所在地：901-0301

沖縄県糸満市字阿波根1552-2

TEL：098-995-3511



横井小児科内科医院

病児保育室「こりすの里」

金沢の当地域で開院して70年以上になる横井小児科内科医院ですが、かかりつけの患者様から病児保育の要望が多く、少しでも皆様のお役に立てれば良いとの思いで、平成18年1月に医療機関併設型として、診療所の2階に病児保育施設「こりすの里」を開設しました。開設して1年が経過し、繰り返し利用して下さる方々も増え、患者様や地域の方々に根付いてきたようです。

「個々の発達、健康状態に応じ、病気の時でもそれぞれ子供の生活リズムに合わせて安心して過ごせるようにする。」との保育目標を掲げ、利用す

るお子様も保護者も安心していただけるようにスタッフ一同心掛けています。

また、手作りおもちゃの作成や、子供たちにわかりやすい工夫にも取り組み、子ども達の笑顔を大切に、「こりすの里」独自の保育看護に取り組んでいます。

保育士 安宅 玲子

所在地：920-0967

石川県金沢市菊川1-10-3

TEL：076-262-8551



綾川町病児保育室うぐいす

香川県のほぼ中央に位置した人口3万人弱の綾川町にある病児保育施設です。施設名は、町が「梅の里」であることと「うぐいす」の英名が「ナイチンゲール」であることから命名しました。

町立の国保陶病院に併設された医療型の施設です。平成13年4月に、近隣の病児保育協議会の会員の皆様のご指導ご助言を頂きながら、香川県で初めて開設しました。

平成16年には病院新築移転と共に施設も新しくなりました。移転の際には、3つに分かれた保育室の動線が交差しないような造りにしました。

スタッフは小児科医と

保育士、看護師各1名です。利用人数は月30人前後です。

規模は小さいですが、地域の子育て支援のためにスタッフ一同努力していきたいと思ひます。

陶病院小児科医師

井本 耕二

所在地：761-2103

香川県綾歌郡綾川町陶1720番地1

TEL：087-876-1185

病院ホームページ

<http://www.sue-hp.jp/>



子育てひろばたつのこ

病後児保育たんぼぼ

病後児保育「たんぼぼ」は2003年6月に羽村市の委託を受けて、病後児保育として羽村たつの子保育園に開設されました。保育園併設という条件もあり、園児の利用が大半を占めています。風邪をひいてお熱が出ちゃった、感染症の予後、とびひや手足口病などが流行すると大人気の「たんぼぼ」です。

クラスのお友達もお庭に遊びにきてくれたり、時には大好きな担任の先生が顔を出してくれることもあって、クラスにいるのと同じように安心して過ごせる場になっています。また市内の保育園児も同じように利用して

います。

時には大きいお兄ちゃんやお姉ちゃんたちとも一緒に過ごせる日もあり積み木をしたりパズルで遊んだりお絵かきをしたりと、保育園の中ではなかなかできない家族のような和やかな雰囲気、ゆったりとくつろげる時間を過ごしています。

園長 村上ひろみ

所在地：205-0011

東京都羽村市五ノ神

2-6-8

TEL：042-555-3791



★ ★ 加 盟 施 設 紹 介 ★ ★

塚田こども医院 わたぼうし病児保育室

平成13年度開設時は平均0.7名の利用者数も今年度は1月末現在7.7名まで増えた“わたぼうし病児保育室”は、5名の保育士で保育にあたっています。登録者も600名を超え、地域に根ざした施設になってきました。

施設長(塚田院長)からは「病児保育は母親支援。困っている親御さんのため、依頼があったら絶対断らずお預かりする」の言葉どおり、多い日は23名お預かりしました。

お母さん方からの「助かりました」、子どもたちからの「お母さん、明日もわたぼうしに来てい

い？」の一言は私たち保育士の活力剤であり財産です。

利用者が少ない日は医院待合室で“育児相談”や“絵本の読み聞かせ”を行い子どもたちと接し、楽しい日々を送っています。

保育士 新保 好美
所在地：942-0072
新潟県上越市栄町
2丁目2-25
TEL：025-544-7779



山口クリニック キッズケアルーム風船

私達のキッズケアルーム風船は岩手県岩手郡滝沢村、日本一人口の多い村(5万3千人)にある病児保育室です。平成14年5月に滝沢村の支援でスタートしました。先日、第4回北東北病児保育室交流会をお世話させていただきました。

プログラムに盛岡市周辺の病児保育室(盛岡市3箇所と当施設)見学を取り入れましたところ、私達の施設が「牧場の中の自然いっぱいのところにある」と勘違いなさっていた方がいらっやっやっ・・・。実は敷地の向かいが盛岡市という場所です。当然盛岡市民の利用希望も多く、対応でき

るときにはお預かりするという姿勢でスタッフ一同頑張っています。

小児科クリニックの併設型でスタッフは院長、看護師2名、保育士3名が交代で「まずはスタッフが楽しく仲良く明るく元気で」をモットーにしております。

小児科医 山口 淑子
所在地：020-0173
岩手県岩手郡滝沢村滝沢字穴口377-1
TEL：019-641-6828



(医) 石川小児科 ジョイルーム

当施設は石川小児科の診療所内にある病児保育室として平成13年5月より運営されています。開始当初は合併前の重信町との委託契約で始まりましたが、隣町の川内町と合併して東温市となつてから東温市と契約して事業を行っています。

東温市の人口は3万人ちょっとと小さい市ですので定員は2名ですが、利用する人数は流行する疾患があるかどうかによって左右され最大7人の利用があるときもありました。利用ご希望の場合はできるだけ断らない方針でやっていますので流行する疾患の時の対応に困ることがありますが、

病室2室と一般の部屋を使って保育士さん、看護師さんが頑張ってお対応してくれています。

保育士さんが作ってくれた壁面飾りが入り口のドアや部屋の壁、診察室の机の前などにあって子どもたちが喜んでくれます。

院長 石川 純一
所在地：791-0203
愛媛県東温市横河原337-1
TEL：089-955-0333



豊中市立本町保育所 「病後児保育室」

平成14年4月に保育所併設型「病後児保育室」として開設され、6年目を迎えるとしています。定員は4名で1歳～5歳までの児童が利用できます。職員は嘱託医2名、看護師1名、保育士4名で時間に追われることなく、ゆったりと過ごしています。

利用された方から「利用するまでは不安だったが、迎えにいくとニコニコ顔で安心して預けられます」という感想をいただいています。また保育室での様子が見られるよう、1枚の写真アルバムにして渡すととても喜ばれ、次回利用する際「この保育室に行くよ！」と

見せれば、安心するそうです。こころもからだもほっ！！とできる病後児保育室になるよう努力しています。

全国病児保育協議会の中では数少ない公立の施設ですが、皆さんとともに病後児保育の運営に取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

保育士 前田 希代子
所在地：560-0021
大阪府豊中市本町5-8-52
TEL：06-6848-2656



東 西 南 北 ブ ロ ッ ク 便 り

鹿児島県支部から 鹿児島県支部設立総会開催

平成18年12月3日、全国病児保育協議会鹿児島県支部設立総会がサンエールかごしまにて開催されました。平成17年12月に病児保育施設長による連絡会議を開催した折、協力しあいたい、学びあいたいとの思いから県支部発足への布石ができていました。全国病児保育協議会からの推進があり、池田病院院長、池田琢哉(チックタック童夢館館長)が、県支部長代行として、各施設長のご意見をいただきながら準備を進め、スムーズに県支部設立総会にいたることができました。



県内には、13ヶ所の病児病後児保育施設があり、今回すべての施設が協議会に加入いたしました。都合のつかなかつた2施設を除く、11施設の参加がありました。開会の挨拶として、鹿児島県支部長 池田琢哉先生から病児保育事業の発展・向上のために連携をとりながら研鑽を図り質の向上を目的として活動していきましようとお話がありました。協議内容は、①県支部会則について②役員選出について③準会員の資格などについて、和やかな雰囲気の中で、活発な意見交換が行われました。役員選出では、支部長、副支部長、監事以外の施設長は理事として、全員で県支部を運営していくことになりました。

そして、池田病院から「病児保育室チックタック童夢館におけるISO9001の運用」と題し、顧客満足、継続的改善のシステムを取

り入れた日々の取り組みを発表させていただきました。

最後に全国病児保育協議会研修委員長の南武嗣先生(みなみクリニックダグヘム)に「病児保育におけるピットホール」という特別講演をいただきました。ノロウイルスの感染力がニュースになった時期、嘔吐物の扱い方や消毒方法、乳幼児突然死症候群についてデータにもとづいた注意事項など、ご教示いただき、レベルアップすることができました。

閉会の挨拶は、鹿児島県で最初に病児保育を始められた、さつま川内市の関浩孝先生(関小児科医院ぐーちょきばー)からお言葉をいただき、参加の皆様から「とても勉強になった」「スタッフ間でも連絡をとりあいたいのでスタッフ名簿をつくってほしい」などの意見がでました。

一堂に会し顔をあわせることで、同じ病児保育に携わるひとりひとりが手をつないだという感覚をあげることができました。今後、全国病児保育協議会本部からのご指導をいただきながら、県支部として有意義な活動をしていきたいと思っております。

三重ブロックから 第3回三重ブロック病児保育学習交流会開催 津病児デイケアルーム「ひまわり」 黒宮 恵子

平成18年3月19日(日)に、三重県津市の(医)熱田小児科クリニックにて第3回三重ブロック病児保育学習交流会を開催しました。

わずかな時間ではありましたが三重県健康福祉部こども家庭室保



育サービスグループ グループリーダーの藤原氏も参加され、三重県内の病児保育の現状についてお話いただきました。そして病児保育に携わる医師・看護師・保育士が休日返上してよりよい病児保育の為に努力している事もご理解いただけました。

分科会では、ブロック設立3年目にして初めて県内全施設(7施設)のスタッフが顔を合わせ(参加者32名)今までとは一味違った雰囲気の中で日頃の思いを語り合いました。

分科会1～施設長の会～では、主に全国病児保育研究大会(第



18回)の三重県での開催について話し合われました。

分科会2～スタッフの会その1～では、食事・感染症・遊びについて話し合われました。特に『感染症について』は「感染症児が重なった場合の部屋割りに困った」「インフルエンザ初期のみ受け入れていないが、入室中に陽性となり高熱で怖がり保育する側も不安だった(保護者はすぐに迎えに来られず)」「流行性角結膜炎が流行り、院内感染を防ぐために非常に気を遣った」「スタッフがインフルエンザにかかった」などの意見が出され各施設それぞれに苦労を

東 西 南 北 ブ ロ ッ ク 便 り

しながら感染症児を受け入れていることを実感することが出来ました。

分科会3 ～スタッフの会その2～では、現状報告・日常業務の中での問題点や工夫について話し合われました。各施設とも利用児

数が増加していますが、利用定員を超えた場合にオンコール保育士や待機職員が出動し対応が可能な限り受け入れて対処している施設が3施設ありました。(待機保育士が多い施設では、申し送りの漏れが無いように回覧ファイルを

作っているとのこと) 問題点としては『家庭連絡票の記入もれ』『かかりつけでない患児への対応』『部屋割り』などたくさんの意見が出ていましたが、どの施設も共通した問題点を抱えていると改めて感じました。

近畿北ブロックから 第22回近畿北ブロック学習交流会 病児保育室「ぽっけ」 三宅



平成19年2月17日兵庫県神戸市の病児保育室「ぽっけ」で第22回近畿北ブロック学習交流会が開催されました。

毎年会場は、大阪府、京都府でしたが今回初めて神戸での開催となりました。当日は、あいにく昼頃から雨が降りだし足元の悪いなかでしたが、大阪府、京都府、兵庫県の12施設42名の参加がありました。

今回が、今までの形式とは違い講義をなくし、交流会を主に行ないました。前半は情報交換、後半は6グループに分かれて交流会を行いました。情報交換では、日頃各施設がどのように保育看

護、給食提供、保護者対応、施設運営等を行なっているかをくじ引き方式で発表して頂きました。

*くじ引き方式とは・・・。
箱を2つ用意しそれぞれの箱に個人名(施設名)、質問内容を入れ、司会者が引く。当たった方が、当たった質問に答える。質問の中には、病児保育とは、少し離れた内容(血液型、ストレス解消法、最近ないた出来事等)も入れました。

くじ引きという緊張感もありましたが、参加者からは「ドキドキしたけど良かった。」等の感想を頂き和やかな雰囲気の中で前半を終えました。

後半の交流会では、様々な職種

(医師、保育士、看護師、調理師、共済会)の方々と話ができるようにグループ分けをし、自由に話をして頂きました。少人数のグループだったので、皆さんが発言でき他施設の状況も見え、充実した時間を過ごせたように思います。

今回は、初めてのこともありどうなるかとスタッフ一同不安でしたが、実行委員会の方々をはじめ、参加者の方々に支えられ無事に終える事が出来ました。今回頂いた様々な貴重なご意見を今後の学習交流会に生かし、またこのような場で皆さんにお会い出来る事を楽しみにしています。

新しい施設紹介のポスターができました



加盟施設向けポスターが、デザインを一新。新年度を迎え、保育所や行政等の窓口に掲示していただき、病児・病後児保育を広く知ってもらうチャンスです。是非この機会にご活用下さい。

<申込方法>

全国病児保育協議会のホームページにアクセス、加盟施設向けポスターの中にある申込用紙をダウンロードして申し込んで下さい。

手順① 申込用紙をダウンロードし、必要事項を全て記入して申込先にFAXで申し込んで下さい。

手順② 申込後5日位後に施設名等が入った点検用ポスターが、FAXで送信されますので内容を点検して、訂正が無ければ電話で、訂正があればFAXで申込先にご連絡下さい。

手順③ 手順②が終了後1週間位後にポスターが届きますので、同封の振替用紙にて郵便局から送金して下さい。

<頒布価格>

A4サイズ=1枚105円

A3サイズ=1枚210円

送料=650円

10枚以上申し込んでいただくと送料が、無料になります。

第17回

全国病児保育研究大会in福岡

●日時 平成19年7月15日(日)～16日(月祝) 拓こう病児保育の未来を
 ●会場 福岡国際会議場 保育の質の向上めざして
 会頭/高崎 好生 実行委員長/井上 賢太郎

◆プログラム

- 特別講演 (横山正幸/福岡教育大学教授)
「これからの育児中の家庭支援のあり方」
一発達的視点から育児問題を考える一
- 基調講演 (帆足英一/全国病児保育協議会顧問)
「病児保育の資質向上(仮題)」
- 教育講演 1 (武谷 茂)
「保育における病児の印象診断」
- 教育講演 2 (濱野良彦)
「歯とこどもの心のつながり」
- 教育講演 3 (吉永陽一郎)
「育児支援スタッフのための育児支援のノウハウ」
基礎研究プログラム、分科会(一般演題)、
ポスター発表など

主 催：全国病児保育協議会 <http://www.byoujijoiku.ne.jp>
 事務局：しんどう小児科医院 TEL.(092)865-7100 FAX.(092)865-7200
 後 援：福岡県・福岡県医師会・福岡県小児科医会・福岡
 地区小児科医会・日本女医会・福岡県看護協会・
 福岡市保育協会

福岡 名所めぐりMap (ご参考にどうぞ)

福岡市シーサイドももち
海浜公園シーサイドももちの代表的な建物の一つ。福岡タワー一見するとビルのようなのですがハーフミラーを貼り付けた様です。

海の中道海浜公園
天神から車で約1時間。広大な敷地内には、自然がいっぱいの「海の中道海浜公園」や、イルカやアシカのショーなども観ることが出来る水遊園「マリノワールド海の中道」などがあります。

ベイサイドプレイス博多
博多港のウォーターフロントに広がる施設。劇場やレストランでは美味しい食事が楽しめる。また全館天然の食材が調製できる温泉「博多一番風呂」も癒え、夜更けまで楽しめます。夜更けを始めるデパートとしても人気です。

マリノメッセ福岡
ここは博多の港です。周囲にはいろいろな施設があり楽しめる場所です。このマリノメッセはイベントのないときは静かで周辺が市民の憩いの場所となっています。

香椎花園
花園といっても植物園ではなく遊園地です。花も多く植えられてはいますが、近くにはマリノワールドや海の中道海浜公園など同様の施設があり、どこに行くか悩むそう。

大濠公園
大濠公園緑地
この公園は福岡市の代表的な公園で池の周囲は2kmあります。池の中に島が三つあり四つつなぐ橋を二分しています。

福岡市美術館
緑豊かな大濠公園内にある「福岡市美術館」では、20世紀のモダンアートや福岡出身の若手たちの作品を展示。

友亭公園
世に増えぬ 暑さも知らず 湧き出づる 泉を友とせず 友亭は
という歌になみな友泉亭と名づけられた日本庭園で東田家六代藩主黒高公の別荘として江戸時代中期に建てられたものです。当時の庭は美用的で貴重な建物に四季折々の美しい眺めが楽しめる庭園をセレクトにしたものようです。

博多
博多は延喜元年の923年に創建された八幡宮で宇佐、石清水と並ぶ日本三大八幡宮であり鎌倉以降は武神として武家の尊厳を集めました。

櫛田神社
博多の総鎮守で創建は平安時代と伝えられる。例祭は5月3日の博多どんたく7月15日の博多祇園山笠、10月23日の博多おくんちなど博多に親しまれている神社です。

キャナルシティ博多
いつも買い物客や観光客で賑わう、巨大複合商業施設。ハイグレードなホテルに、劇場や13のスクリーンからなる映画館、人気のレストランや軽蔑のショップまで、観て食べて遊べるマルチな楽しみがいっぱい。

広報委員会からのお知らせ

第17回全国病児保育研究大会に昨年好評だった「広報のひろば」を設置します。今年も昨年同様に、加盟施設のニュースや広報誌・新聞掲載記事とテレビ等で放送された施設紹介や病児保育のニュース等を募集します。

加盟施設のニュースや広報誌・新聞掲載記事は、大会当日に「広報のひろば」までご持参下さい。大会に参加できない施設の方は、6月30日までに右記までお送り下さい。

また、テレビ等で放送された施設紹介や病児保育のニュース等を応募される方は、DVDに焼いて

いただき6月30日までに右記の住所宛にお送り下さい。

〒860-0056
 熊本県熊本市新土河原2丁目8-34
 NPO 法人チャイルドケアサポートみるく
 担当：永野
 TEL：096-320-5166

TOPICS

国の「子どもと家族を応援する日本」重点戦略検討会議の分科会メンバーに藤本保氏任命される。

関係閣僚(内閣官房長官と8名の大臣 少子化担当、経済財政政策担当、総務、財務、文部科学、厚生労働、経済産業、国土交通)と7名の有識者からなる重点戦略検討会議は、2月9

日に初会合が首相官邸で開かれ、安部首相は「内閣の総力を挙げて真剣に取り組む」と語り、高市少子化相は「少子化対策がなぜ効果を上げていないかデータに基づき分析し、何を重点化していくか考えたい」と記者会見で述べました。

4つの分科会のうち、従来の施策を点検する「点検・評価」(主査=佐藤博樹・東大教授)には

大分子ども病院の藤本保院長ら8人が任命されました。

長年、全国病児保育協議会の会長を務められた藤本保氏がメンバーに選ばれたことは私どもの喜びでもあります。全国病児保育協議会の利益代表としてではなく、自由にご活躍されることをお祈りいたします。

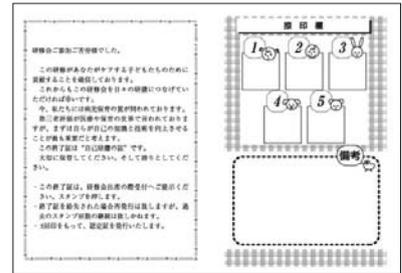
文責 広報委員会担当副会長 二宮 剛美

昨年開催された研究大会で、5回研究大会に参加された会員施設の会員22名の方に認定証を発行しました。この制度は、6年前に研修会(当時の呼称)に参加されている会員施設の方に何か認定証を発行してはどうかという、研修委員会からの発案で実施されたものです。この度めでたく5年が経過し22名の方が初の認定証発行の対象となりました。おめでとうございます。

病後児保育の発展に寄与していただくためにも今後も、制度を強化発展させていく必要を感じています。

認定証の発行には、受講証を研究大会に持参していただき、

協議会事務局にて参加確認印を捺印してもらい、5回分たまった時点で協議会事務局に申請していただくと認定証が発行されます。



Pick Up BOOK 2

『サムは けっしてわすれません』



イブ・ライス 文・絵
あきのしょういちろう 訳
童話館出版 1360円 p 32
(およそ3~4才から)
絵本紹介
こどもの本の童話館グループ
<長崎県長崎市>

「こうえんのなかにある、どうぶつえんのとけいが、3じをしらせませす。3じになると、まいにち、しいくがかりのサムは、どうぶつたちに えさをやります。わすれたことなど ありません」

今日も、いつものように、動物たちの好きなえさを、あげていきます。キリンには、みどりの葉っぱ。さるくんたちには、バナナ。あざらしには、魚。でも、象だけは何ももらえないまま、サムは行ってしまいました。象は、今にもなきだしそうです。

「おーい、サム。わすれたのかい? ぼくのこと、わすれたのかい?」そこへ、サムの声が聞こえました。

「ねえ、ぞうくん! きみは、からだが とてもとても おおきいだろう。だから、とてもとてもたくさんたべるよね。それで、ぼくは、きみのほしくさで、ワゴンをいっぱいにして、もどってきたんだよ」

動物園のなにげない日常を描いたにすぎないこの作品が、こんなにも幼いひとの心をとらえるのは、なぜでしょう。

動物園でいちばんからだが大きくて、一番強い象でさえも、自分が忘れられるということの「おそれ」と「かなしみ」に、涙があふれてくるのです。この作品は、「そうさ、なにがあっても、どんなことがあっても、サムは、けっしてけっして わすれないよ!」で終わります。このむすびの言葉に深く安心する幼いひとたちの心は、同時に、大人である私達の心でもあるように思います。

好評販売中です

「必携 新病児保育マニュアル」

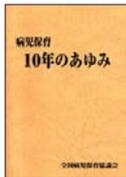
- B5版 378頁
- 価格 1冊 会員3000円
(送料・税込み)
- 非会員4000円
(送料・税込み)



病児保育に関する事がすべて網羅されたバイブル的マニュアル本です。一人に1冊持っていたきたい必読書です。

「病児保育10年のあゆみ」

- B5版 104頁
- 価格は 1冊1600円
(送料・税込み)



全国病児保育協議会設立10周年を記念して発行され、設立当初からの歴史を網羅しました。
※ご購入は、全国病児保育協議会のホームページより申込書をダウンロードしてFAXにて全国病児保育協議会事務局までお申し込み下さい。

「施設紹介コーナー」「東西南北ブロック便り」を連載中！加盟施設のみなさん原稿をどしどし送ってください。また、各施設で特に取り組んでいることや楽しい出来事などがあれば、紹介させてください。原稿をお待ちしています。

<協議会ニュース 編集事務局>

〒531-0076 大阪市北区大淀中3丁目15-5
(株)関西共同印刷所内 藤本 文孝 宛
TEL.06-6453-3675 FAX.06-6442-5788
E-mail fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp

第18回 全国病児保育研究大会 開催のお知らせ

2008年(平成20年)の開催が予定されている第18回全国病児保育協議会研究大会は三重県四日市市で開催される事になりました。内容が決まり次第病児保育協議会ニュース・ホームページで順次お知らせします。

日時：2008年(平成20年)
7月20日(日)・21日(月・祝)
開催地：三重県四日市市

通信欄

会員の皆さまからのお便り・質問等をFAXやメールでお送りください。直接回答させていただいたり、ニュース等に掲載させていただきます。
送付先：FAX 06-6442-5788、メール fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp 広報の藤本まで。

全国病児保育協議会新規加入の施設

- 393 ◆大滝病院病児保育園
理事長 大滝 秀穂
〒910-0029
福井県福井市日光 1-1-1
TEL: 0776-27-7000 FAX: 0776-27-7377
- 394 ◆病後児デイケアセンターだざいふ
理事長 松本 正
〒818-0104
福岡県太宰府市通古賀 3-4-30
(医) まつもと小児科医院
TEL: 092-929-1358 FAX: 092-929-1368
- 395 ◆練馬区医師会病後児保育センターぱるむ
施設長 飯島 健志
〒179-0072
東京都練馬区光が丘 5-6-1-101
TEL: 03-3977-9400 FAX: 03-3977-9401
- 396 ◆子どもデイケア「暖家」
医師 小林 秀美
〒939-0666
富山県下新川郡入善町高島 269 嶋田医院
TEL: 0765-76-0153 FAX: 0765-76-0153
- 397 ◆上大岡こどもクリニック
院長 佐藤 順一
〒233-0002
神奈川県横浜市港南区上大岡西 1-15-1 カミオ 404-2
TEL: 045-882-0810 FAX: 045-846-8742
- 398 ◆病後児保育室ほしのこ
代表 渋谷 春美
〒049-0162
北海道北斗市中央 2 丁目 4 番 10 号
TEL: 050-2020-9955 FAX: 050-2020-9955

これ以降の加盟施設は次号で

全国病児保育協議会事務局

〒535-0022 住所：大阪市旭区新森 4-13-17 中野こども病院気付

担当：藪田・堀込 電話：06-6952-4778 FAX：06-6954-8621